



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 15 No. 2569

2016-2017年度国際ロータリーのテーマ

2016-2017年度RI会長 ジョンF・ジャーム

2016-2017年度士別ロータリーのスローガン

共に笑顔で支えあい輝く未来を創ろう



人類に
奉仕する
ロータリー



2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>
士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

■例会場／士別グランドホテル
■例会日／毎週月曜日 12:10～13:10

■会 長／山口 哲雄
■副会長／佐藤 元保
■幹 事／高山 稔
■事務所／士別グランドホテル
士別市東3条6丁目4番地 TEL0165-23-1234

第2651回例会 2016年11月7日(月)

今日のプログラム ・普通例会 ・誕生祝 ・理事会

前回(10月31日)の記録 ・夜間例会

司 会 泉谷 勇 会場監督
齊 唱 それでこそロータリー
本日の出席 会員 47人中 出席者 47人 出席率 100%
本日の欠席

メイクアップ

ゲ ス ト

ニコニコBOX 高山稔(孫、琴羽ちゃん誕生)
尾崎学(教育委員、退任)
本山忠之(RCゴルフ同好会優勝)

累計 158,000円

例会予定

■11月例会日[ロータリー財団月間]

- 11月 7日 (月) 普通例会・理事会
- 11月14日 (月) 普通例会
- 11月21日 (月) 普通例会
- 11月28日 (月) 夜間例会

■12月例会日[病氣予防と治療月間]

- 12月 5日 (月) 普通例会・年次総会・理事会
- 12月12日 (月) 夜間例会・ファミリーパーティー
- 12月19日 (月) 普通例会
- 12月26日 (月) 特別休会

■会務報告・・・・・・・・・・山口哲雄 会長

10月も最終日を迎え、初雪も例年より早い気がします。秋の取り入れや、皆様のお仕事はいかがでしょう。

日没の早まるこの時期、皆様ご承知と思いますが、先般、剣淵町・和寒町における交通事故が立て続けに発生、いずれも高齢者の死亡事故につながっています。

私達も仕事上車の運転には十分気を付け職場での交通安全啓発にも努めて下さいますようお願い申し上げます。

最近話題のAI（人工知能）活用、皆様も充分ご承知と思いますが、北洋銀行は26日千葉銀行など全国の地銀5行と共同でAIを活用した業務やサービスの開発を始めたと報道されました。日本IBMの技術支援を受けながら可能性を探るようです。顧客との「対話」「運用相談」に融資の審査までも出来る様に研究を進めるようで、想像するとなんとも複雑な気がします。先般、将棋のトップ棋士が対局中に、スマホでソフトを不正使用の疑いで処分されたり囲碁名人がコンピューターに負けたりと人間を超えるのでしょうか、機械は人間が造ったものなのに、あなどれないAI、どんなに研究が進んでも、人と人との名勝負こそが楽しませてくれるように思います。

ちなみにIBMの開発したワトソン、ソフトは1秒間に8億ページを読みこなすそうです。

こんな時代が来るとは、想像も出来ませんでした。

■幹事報告・・・・・・・・・・高山稔 幹事

1. 地区大会実行委員会よりお礼の挨拶文が届いております。掲示板を御覧下さい。
2. 合宿の里土別ロゴデザイン選考の御願いが来ております。皆様に回しますのでロゴデザイン・レアウトを選んでください。
3. 全日本実業団対抗女子駅伝競走大会『クイーンズ駅伝』応援ツアー案内が来ております。日時は11月26日(土)～28日(月)の3日間です。詳しくは掲示板をご覧ください。
4. 国際ロータリー第2500地区ガバナーエレクト事務所開設のご案内がとどいております。

住所：網走市北4条西3丁目5-14
ぼらりす2階

5. 名寄RCより11月例会のお知らせが届いています。掲示板をご覧ください。

--「ロータリー財団月間」を祝う--

2016-17年度ロータリー財団管理委員長
カルヤン・バネルジー

1956年、国際ロータリー理事会は、すべてのクラブが「ロータリー財団に貢献するプログラムを実施する」ことを促す週間を11月に設定しました。さらに理事会は1982年、この週間を11月全体に拡大し、財団に捧げる月間としました。

私たちの財団はそれ以来、誰もが想像しえなかったほど大きく成長し、繁栄を遂げました。1985年、ロータリーは世界の子どもたちにポリオの予防接種を行い、ポリオのない世界をつくるという、組織を挙げての初のプロジェクトを開始しました。

財団の人道プログラムは、補助金の申請を効率的に処理することが困難となるほど急速に成長しました。そこで新しい補助金モデルが導入され、より大規模で長期的な成果をもたらすグローバル補助金と、より短期の小規模な活動を支える地区補助金が始まりました。さらに、ロータリー平和センターの設立を通じ、「平和のための大学」というロータリアンの長年の夢が実現しました。

ロータリアンからの寄付も格段に増加しました。1982-83年度の寄付総額は1900万ドルほどであったのに対し、2015-16年度では2億6560万ドルにまで達しています。

今月は、単に財団月間を祝うだけでなく、ロータリー財団100周年を祝う月です。ロータリーのウェブサイトでは、この特別な年度に適した行事のアイデアが紹介されていますが、私から特に3つのアイデアをお伝えします。

まずは、世界でよいことをしてきた財団の100年にスポットライトをあてるような、地域社会全体を対象とするイベントを開くことです。2つ日は、緊要な課題に応えるプロジェクトの計画と実施です。これは、地元での募金活動を通じて資金を調達するか、グローバル補助金に申請して実現できるでしょう。プロジェクトの例として、きれいな水の提供、女子への基本的教育の提供、マラリア、HIV/エイズ、その他の予防可能な疾病への取り組みなどがあります。

3つ目にお勧めしたいことは、すべてのロータリアンが100周年を記念した特別寄付を行うことです。ロータリー財団は、私たち一人ひとりのものであることを忘れてはいけません。私たちがからの寄付が世界でよいことを行う財団のあらゆる善行を支えているのであり、これは過去100年に渡って継続されてきたことです。この伝統を次の100年にも継承していこうではありませんか。

---MyRotryより抜粋